## 環境マネジメントシステム導入報告書

(	宛	先	)	京	都	府	知	事	平成30年 7月 24日
住所 大阪				主たる事 条1-28-1		所在地)	1		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 日立物流 西日本統括本部 執行役専務本部長 飯田 邦夫

環:	竟マネジメン	トシステムの	名 称	グリーン経営認証
適	用	範	囲	株式会社日立物流 イオン関西NDC
導	入	年 月	日	平成25年 2月 20日
認	証	番	号	W260013
基	本	方		平成29年度日立物流グループ『環境方針・行動計画』(①事業所で発生する環境負荷の削減②環境負荷の小さい物流・サービスの提供③環境意識と環境管理のレベル向上④自然との共生と環境コミュニケーション促進)を準用し、グリーン経営認証の継続に向けて取組む。
				電気使用量削減…平成28年度比1%削減
	に配慮した事業活動標(以下「目標」	動を自主的に進めてい という。)	くため	廃棄物排出量削減…平成28年度1%削減
				電気使用量削減…デマンド監視の徹底、室内温度の適正化、不要な照明の消灯等
目	票を達成する	ための取組の	内 容	廃棄物排出量削減…リサイクルの推進、ゴミの分別化の徹底等
目相	票を達成するた	こめの取組の進物	步状 況	電気使用量削減…デマンド監視の徹底、室内温度の適正化、不要な照明の消灯等 について実施継続中である。 廃棄物排出量削減…リサイクルの推進、ゴミの分別化の徹底等について実施継続 中である。
				電気使用量削減
	を達成するためのB 評価	<b>反組の成果及び当該成</b>	果に対	<ul><li>…平成29年度は目標を達成することが出来た。</li><li>廃棄物排出量削減</li><li>…平成29年度は目標を達成することが出来た。</li></ul>
事	業活動に係る	法令の遵守の	状 況	関連法規の遵守状況について定期的に確認を行っており、また、これまで違反及び 行政当局からの指摘はなし。
環境	  マネジメントシスラ	テムの評価及び見直し		評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。 平成29年度においては、現行の目標及び取組み内容により、一定の成果がみられた ので、平成30年度も同一のシステムにより運用する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。